



大磯小学校 学校だより

令和6年7月19日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



あっという間に1学期が終わり、夏休みを迎えることとなりました。「今年の夏も、非常に暑くなる」との予報どおり、7月はWGTB（暑さ指数）とこらめっこをする日々でした。そんな中でも、顔を真っ赤にしながら元気に登校してくる子どもたち。暑さと戦いながら歩いてくる姿に頭が下がります。本当に毎日よくがんばりました。

6月、7月は、学年ごとに様々な学習がありました。1年生は通学路探検、2年生はまち探検、3年生はあおばと観察、4年生は図書館見学、美化センター見学、5年生は地引網体験や田んぼ見学、6年生は租税教室です。その他にも、水泳指導や交通安全教室や、おはなし会もありました。

残念ながら、WGBTの数値を基に、実施を断念せざるを得なかったものも複数あります。楽しみかしていた子どもたちには、申し訳ない思いでいっぱいではありますが、子どもたちの健康と安全を第一に考えての判断でしたので、ご理解をいただければと思います。

実施できなかった学年では、代替行事を検討したり、実施方法を変更したりすることで対応もしていました。5年生では「ウォーターフェス」を開催し、とても楽しそうに活動する様子が見られました。「とても素敵な写真が撮れました!!」との報告を受けた下の写真。みんなとても良い表情をしていますね。



2学期も、子どもたちのたくさん笑顔が見られることを楽しみにしています。

そのためにも、終業式では、三つの宿題を出しました。「自分の命は自分で守る」、「ありがとうの気持ちを伝える」、「地域のためにできることをする」の三つです。詳細はお子さんからお聞きいただければと思います。

保護者の皆様には、様々な面でご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。おかげさまで、大きな事故等もなく、1学期を終えることができました。特に、熱中症対策においては、2学期も様々なご心配をおかけすることと思います。しかし、先にも述べましたとおり、子どもたちの安全を第一に、その都度検討をして、最善と思われる決定をしていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

